

「炎の海」を讀んだら、この俳句を讀んで下さい。

首都炎上

昭和二十年三月十日

(俳句の送りがなは現代かなづかいを用いる)

首都空襲寒夜地獄となりけり
句が並んでいます
私の代表的な

空襲警報防空壕の闇牙えて

十四、五歳の……」の日記

B29の巨影よぎるや冬擽

の背景の俳句です。
(もちろん俳句は今から十年ばかり前につくりました)

空爆の火柱凍てし闇を裂く

空爆の大火河面を這いまわる

空爆の死屍るいるいと冬の河

子せ胸に黒き屍の岸に凍つ

平成9年

(一九九七年)